

○日本国内で津波を伴った地震

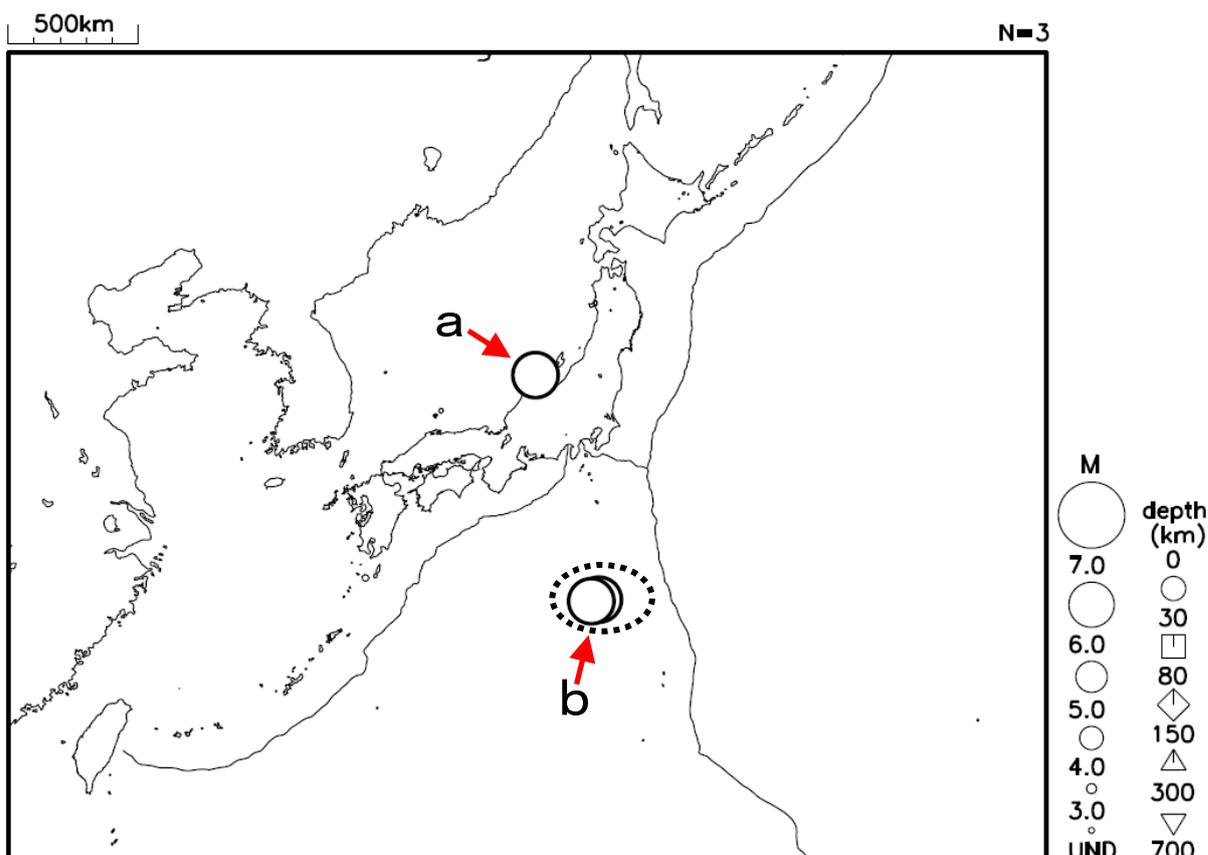


図12 日本周辺で発生した津波を伴った地震の震央分布図（2023年1月1日～12月31日、 $M \geq 5.5$ ）

〔概況〕

2023年に日本国内及びその周辺で発生し津波を伴った地震は4回（2022年は1回）であった。また、海外で発生した地震により、日本国内で観測された津波は1回（2022年はなし）であった。

a 5月5日14時42分に能登半島沖の深さ12kmでM6.5の地震が発生し、石川県珠洲市で震度6強を観測したほか、東北地方から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測した。また、石川県能登で長周期地震動階級3を観測したほか、北陸地方及び長野県で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、石川県の輪島港^{※1}で10cm、珠洲市長橋で4cmの津波を観測した。

は、9日04時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

b 鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。このうち最大規模の地震は、5日10時59分に深さ10km（CMT解による）で発生したM6.5の地震（震度1以上を観測した地点はなし）である。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根^{※2}で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分にはM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなどの津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近で

（図の範囲外）

12月2日23時36分にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ51kmでMw7.5の地震が発生した（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）。この地震により、日本国内では伊豆諸島の八丈島八重根^{※2}で0.4mなど、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。

※1 国土交通省港湾局の観測点

※2 巨大津波観測計による